

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	八女市	代表者名	三田村 統之		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0943-23-1294		
担当者役職	主任	担当者氏名	中石 義裕	連絡先E-mail	*****
住所	834-8585 福岡県八女市647番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	酒井 紀之
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	取り組みの効果を最大化するために、酒井先生から当市の状況のヒアリングをご提案いただいた。当市の考えや求めることをしっかりと聞き、そこからさらに支援内容の提案までしていただきました。
アドバイザーへの要望事項	当日を楽しみにしております。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年9月22日	事前打合せ（オンライン）	有	令和5年8月30日	
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年8月24日	事前打合せ（オンライン）	11時00分	12時00分	
				活動時間（分）	60
3-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good practices/past year all houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	2人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果	事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） DXを推進するためには、職員自身のリスクリングにより、デジタル技術はもちろん、ロジカルシンキングやラテラルシンキング、プレゼンテーション力、ファシリテーション力など、基本的なビジネススキルも必要になる。 しかしながら、これらの能力は一時的な研修では身に付けることが難しく、職員自身が自ら学び、業務の中で意識的にアウトプットする必要がある。また、現在は「DXは私には関係ない、難しい。」という意識が根深いこと、目の前の業務に追われている状況から、学ぶことに対する姿勢や意識が低い職員がリスクリングの必要性を理解し、積極的にリスクリングに対して取り組むようになる。 また、支援後に実際に業務に学んだことを活かしDXの取り組みをより進めていく。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	当市の状況や要望をヒアリングし、それを踏まえた研修の内容、進め方について協議した。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	研修の内容とそれがもたらす効果が具体化された。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する
事業の最終的な目指す姿		

未記入のセルがあります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

3-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



